

## 《競技上の注意》

### 1、競技規則

日本バドミントン協会現行規則に準ずる。

### 2、ポイント数

- ・ シングルスは、15ポイント3ゲームマッチ延長なし  
インターバルは、ゲーム間とファイナルのチェンジエンドのみ。  
但し、ベスト8より、21ポイント3ゲームマッチ延長あり  
インターバルは、11ポイント、ゲーム間、ファイナルのチェンジエンド時。
- ・ ダブルス予選リーグは、15ポイント3ゲームマッチ延長なし  
決勝トーナメントは、21ポイント3ゲームマッチ延長あり。  
インターバルは、11ポイント、ゲーム間、ファイナルのチェンジエンド時。

### 3、シャトル

水鳥検定球

### 4、審判及び点数めぐり

- ・ トーナメント戦のコールをされた選手は、線審を1名連れて選手集合所に来てください。  
また、試合が終わった選手は、次の試合の、敗者は主審(主審ができる人)を、  
勝者は点数めぐり(点数めぐりのできる人)を行ってから席に戻って下さい。  
第1試合の選手は線審、得点めぐりの2名を連れて集合してください。
- ・ リーグ戦は、次の試合の選手で主審、線審、得点めぐりを行ってください。  
また、リーグ内の第一試合の選手は、リーグ内最後の試合の審判を行ってください。

### 6、練習

- ・ 第1試合前に3分間練習ができます。
- ・ 第2試合以降、またその他の練習時間は設けません。
- ・ フロア内でのランニングは禁止します。

### 7、その他

- ・ ダブルスのペアのみ棄権の特別対応  
ダブルスにエントリーのペア(1人)が棄権の場合、代理選手とのオープン参加を認めます。  
代理選手とは、試合進行を妨げない範囲で、コーチ、違うチームのコーチ、他の選手など。  
見つからない場合は本部にご相談ください。
- ・ 勝者は、スコアシートの点数を確認してからサインしてください。
- ・ 試合のアドバイス等は、審判が終わってからするなど、進行を妨げないように行ってください。
- ・ トーナメント戦の第1試合審判は、シード選手より指定させていただきます。

